

## 「佐賀の昔話」について

佐賀民話の会 事務局長 小副川肇

### はじめに

最初に、私事ですが、この「Web版佐賀の昔話」の企画は、平成24年度に佐賀県立図書館が、当時、県内における昔話研究の第一人者であった故宮地武彦先生のサポートを得て始まったと聞いております。先生の体調がすぐれなかったことなどもあり、2年目より筆者（小副川）が引き継ぎましたが、宮地先生は、100話の完成を見ずして平成26年3月に他界されました。

完成を機に、ここに、改めて、ご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、「Web版佐賀の昔話」は、これから佐賀で育っていく子供達に、インターネット動画で郷土の昔話に親んでもらうことを目的として企画されました。

それと同時に、佐賀県で育ち今は県外で過ごされている人達にも、故郷を思い出すきっかけになればという思いや、佐賀県が九州のどこにあるか知らないという人達に、少しでも佐賀を知るきっかけにしてもらえればとの期待もあったと聞いています。

実は、このサイトのトップページにも書いてありますが、佐賀県内には、まだ県民に知られていない昔話がたくさんあります。採集されてはいるが、テープからの聞き取りがなされず記録されていないものまで含めると、1万話を超える話が採集されているのではないかと思います。筆者は、佐賀は九州で一番人口が少ない県ですが、昔話の採集数ではトップクラスだと思っています。

この企画で取り上げた100話を見てもらえばわかりますが、佐賀の昔話は実に豊かです。北は玄海町の「鯛の嫁さんと味噌汁（鯛女房）」(No. 56) から南の鹿島市の「ミソゴロドンの有明海干拓（巨人伝説）」(No. 90)、東は基山町の「わくど息子」(No. 100) から西は有田町の「絵描き座話（一杯飲まんば話されん）」(No. 12) まで、多種多様な話でいっぱいです。

私がこの企画のサポートを引き継ぐに当たって気を付けたことは、次の点です。

#### 1) 佐賀らしい話をできるだけ選ぶこと

インターネットで全世界の人に見てもらうのだから、できるだけ佐賀らしい昔話を選ぼうと考え、伝説についても、ストーリー性があり伝承者等が確認できるものは、多少話の豊かさは犠牲にしても積極的に

取り上げたほか、地域に根付いて伝承されてきた「勘右衛門話」(唐津)や「横道孫兵衛話」(吉野ヶ里町)などのおどけ者の話もできるだけ取り上げました。

また、動物昔話、本格昔話については、全国どこにでもある話が多いことから、その中でも佐賀の年中行事や習俗などの由来に結び付いているものがあれば、優先的に取り上げることにしました。

## 2) 本格的な語り手の話をできるだけ選ぶこと

せっかく日本有数の本格的な語り手が佐賀におられるのだから、できるだけこの語り手の本格的な昔話を味わってもらおうと考え、佐賀の本格的な語り手が持つ話の中で、上記①に該当するものがあれば優先的にとりあげることになりました。ただし、話が特定の語り手ばかりに偏らないようにも気を付けたつもりです。

## 3) 同じ話はできるだけ避けること

県内でよく聞かれる話は数が多いので、その中から、4)の地域的バランスも考慮して、話が豊かであるものや地域的な特性を持っているものを優先して選定しました。

## 4) 地域的なバランスをできるだけ考慮すること

県内の4地区において、できるだけ取り上げる話数が偏らないように、採集話数や語り手の有無を考慮して選定しました。この点は、1)から3)の条件を踏まえた上でなので、特に苦慮しました。

## 5) 採集されてはいるが記録に残されていない話もできるだけ取り上げること

県内くまなく採集が実施されていると言っても、ばらつきはあります。また、昔話が採集されていても記録化されていないものも多数あります。

このため、こうした記録化がなされていない話であっても、上記1)～4)に該当する話があれば、採集時の音源から聞き取ることにしました。その際、佐賀県立図書館が平成25年度に実施した「口承文芸デジタルアーカイブス整備事業」により記録されたデータを利用させていただきました。

このため、刊行されていない資料も多数取り上げることになりましたが、結果的には、未公開資料の公開にもつながり、学術的にも良かったのではないかと考えています。

この解説のページでは、佐賀の昔話をもっと良く知ってもらうために、佐賀でよく聞かれる話等を対象として、話の特徴や伝承範囲、また、よく聞かれる理由や謎など面白そうな点を中心に解説しました。佐賀の昔話の面白さを少しでもお伝えすることができたら幸いです。

なお、本文中に「○○」(No. ○※タイトル一覧の番号)という表現で、本シリーズで掲載した話のうち関係する話の「タイトル名」と「No.」を記載しています。この解説を読んでいただく際、併せて話も参考にさせていただければ、より面白さが分かるかと思えます。

また、昔話の定義や伝説との違いなども解説しておりますので、この解説を読むに当たっての基礎知識にさせていただければと思います。